

厚生労働省 令和3年度障害者総合福祉推進事業

医療的ケア児の実態把握のあり方及び医療的ケア児等コーディネーターの効果的な配置等に関する調査研究

(実施事業者:PwCコンサルティング合同会社)

# 事例集

～「医療的ケア児支援センター」やその機能の一部を  
担いうる専門人材の配置等に係る自治体の取組について～

• 岐阜県	1
• 香川県	4
• 長野県	8
• 青森県	22
• 富山県	25
• 高知県	28
• 奈良県	32
• 福岡県北九州市	35
• 東京都世田谷区	38
• 茨城県つくば市	41
• 北海道札幌市	44

【留意事項】  
本事例集は、令和3年7月から令和4年1月にかけて実施したヒアリング調査の結果等に基づいて作成しています。「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されたのは令和3年9月18日であり、各事例(各自治体)の取組内容は必ずしも同法に沿ったものとは限らないことを予めご了承ください。

# 岐阜県：県内4か所に医ケア児支援の拠点を設置。看護師資格保有者が医ケア児家族や支援者を支援

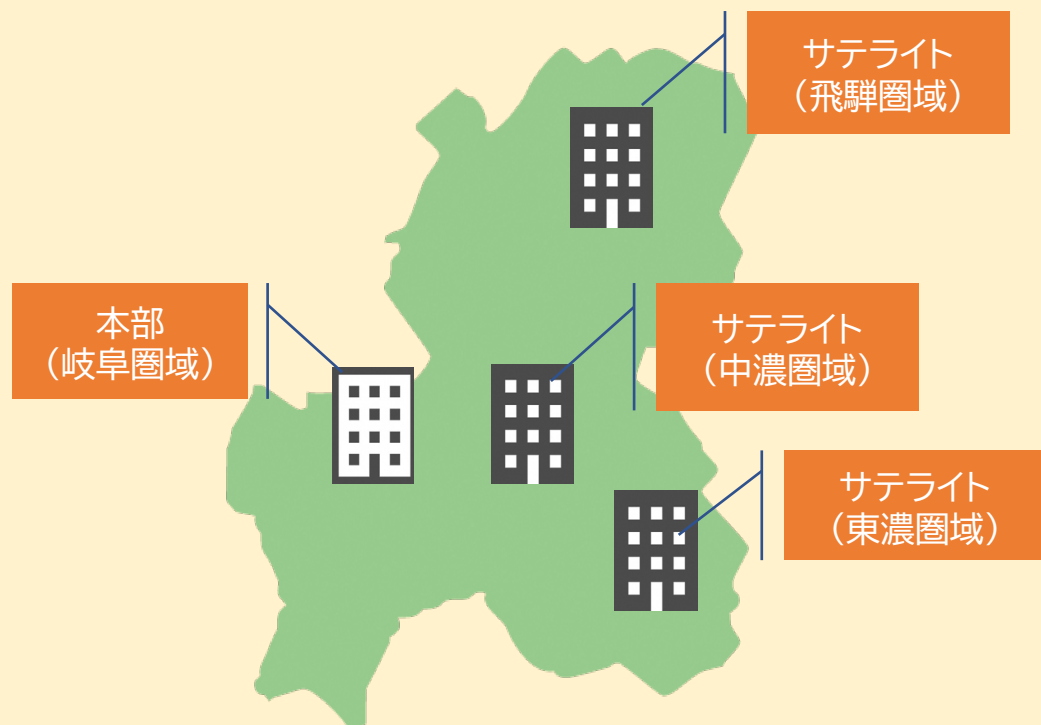
## 特徴

- 重症心身障がい在宅支援センター「みらい」を運営
- センターは、「サテライト」を含めて県内に4箇所設置し、**全県的に支援へのアクセスを確保**
- 医療的ケア児家族への相談対応や、地域の支援者の支援、人材育成等を実施
- **看護師資格保有者が相談員として対応**

## 自治体の概況

総人口（令和3年4月1日時点）	約197万人
18歳未満人口（令和2年7月1日時点）	約30万人
医療的ケア児数（令和元年6月時点）	187人
医療的ケア児等コーディネーター配置人数	1人

## 体制



## 概要

### 重症心身障がい在宅支援センター「みらい」

活動開始年度	平成27年度
組織・機関の運営主体	岐阜県看護協会
活動拠点	本部1か所・サテライト3か所 (県内5圏域のうち4圏域について各1か所)
活動人数	相談員4名 (1拠点につき1名)
1年あたりの支援件数	約200件
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の相談事例への対応</li> <li>・ 家族支援</li> <li>・ 支援者向けの支援</li> <li>・ 人材育成</li> <li>・ 医療機関との連携 等</li> </ul>
組織・機関の特徴	看護師資格保有者が相談に応じており、医療の知識・経験も活かしつつ対応

# 岐阜県：県内4か所に医ケア児支援の拠点を設置。看護師資格保有者が医ケア児家族や支援者を支援

## 主な活動

### ■個別の相談事例への対応

- ・ 医療的ケア児家族からの電話相談に対応
- ・ 時にはご自宅に赴いて相談に応じる場合もある

### ■家族支援

- ・ 圏域単位の家族交流会の開催
- ・ 医ケア児家族向けの機関誌の発行 等

### ■支援者向けの支援

- ・ サービス事業所、医療機関、訪問看護ステーション等からの相談にも対応
- ・ 相談内容(例)
  - 「本人の成長に伴ってどのようなサービスを提供するのがいいか」
  - 「家族による医療的ケアが難しい場合の対応について」 等

### ■人材育成

- ・ 多職種研修の実施
  - 平成29年度以降毎年開催し、各回約70～90名が受講
  - 障害児支援に係る事例検討会を併せて実施
  - テーマは「障害児の在宅支援の質の向上」を基本に各回ごとに設定

### ■医療機関との連携

- ・ 退院時のカンファレンスへの出席
- ・ 障害児の受診時に同席して医師の説明を聞き、その内容を訪問看護サービス事業所に情報提供 等

## 活動の成果

- 医療的ケア児家族からの相談にワンストップで対応できる窓口を確保
- 支援者を支援する「間接支援」機能を発揮
- 専門性が問われる事例についても対応が充実
- 医療的ケア児家族間の交流の促進

## 活動に係る課題

- センターの活動に関する県民向け広報の充実
- 現在活躍しているコーディネーターの「後進」にあたる人材の育成
- コロナ禍に伴って対面での支援活動が制限されていること 等

## 自治体における今後の施策展開方針

- 関係部署との連携を通じて、通園や小・中・高校への通学の支援を充実
- 医療的ケア児家族から要望の強い「医療型短期入所事業所」について補助事業の実施等を通じて施設整備を推進
- 岐阜大学医学部に設置している小児在宅医療教育支援センターと連携した成人期への移行にかかる支援の充実

**【重症心身障がい在宅支援センター事業】**



**みらいとは…**

誰にでも輝くみらいがある。  
誰もが主役！あなたが最高！  
キラキラ光るみらいに飛び立てよう  
支援していきたい…  
そんな思いで名付けられました。

【開所日】

- 岐阜本所 2015年4月10日
- 飛騨サテライト 2018年6月10日
- 中濃サテライト 2019年4月24日
- 東濃サテライト 2019年4月26日



岐阜県看護協会

**重症心身障がい在宅支援センター**

**■岐阜本所** 重症心身障がい在宅支援センター みらい  
岐阜市藪田南5丁目14番53号  
岐阜県民ふれあい会館1棟5階 TEL 058-275-3234  
携帯番号 080-8979-7063  
Email mirai@gifu-kango.or.jp  
【利用曜日及び時間】 月～金曜日 9:00～17:00  
【休館日】 土・日曜日・祝祭日 年末年始

**■飛騨サテライト**  
飛騨市古川町若宮2丁目1-60  
飛騨市役所 ハートピア古川内 1階  
TEL 080-8257-7552  
【利用曜日及び時間】 火・木曜日 9:00～16:00  
(開所日以外は上記本所で対応いたします。)

**■中濃サテライト**  
可児市広見1丁目1番地 可児市役所 1階  
TEL 080-8979-7062  
【利用曜日及び時間】 火・木曜日 9:00～16:00  
(開所日以外は上記本所で対応いたします。)

**■東濃サテライト**  
多治見市青羽町1丁目233番地  
多治見市役所 東北庁舎 2階  
TEL 080-8979-7064  
【利用曜日及び時間】 火・木曜日 9:00～16:00  
(開所日以外は上記本所で対応いたします。)

【ホームページ】 <http://www.zaitaku-mirai.jp>



重症心身障がい在宅支援センター

**みらい** はこんな活動をしています。

**SUPPORT**

1 安心して在宅での生活が送れるように支援しています。

- サポートデスクの設置
  - ご本人、ご家族から在宅生活でのお困りごと話を聞いてほしい… 教えてほしい… など
  - 医療・福祉施設などからスタッフ教育のご依頼  
利用者、他職種等の関係調整指導のご依頼 など

**PERSON**

3 人材育成の支援をしています！

- 小児在宅支援研修会 ● 出前講習
- 同行訪問による看護技術などの指導  
医療依存度の高い障がい児を支えるため、訪問看護師などが必要な知識・技術を学び、質の高い看護が提供できるよう支援しています。

ご相談の流れ



「みらい」へのご相談は…

直接来所    お電話・FAX  
メール      ホームページ

より受け付けています。

**ご相談のメリット**

- スタッフ一同 顔の見える関係づくりを一番大切に考えています。
- お気軽に相談ください！
- ご相談・自宅施設訪問 出前講習・同行訪問など すべて無料！

# 香川県：医療的ケア児等支援センターを開設してワンストップ窓口を確保。「支援者」への支援も充実

## 特徴

- 香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」を開設
- 主な役割は「相談支援体制の構築」「支援者の養成・人材育成」「関係機関等との体制の構築」
- 市町を含む支援者の支援や関係者間の連携構築に力を発揮している

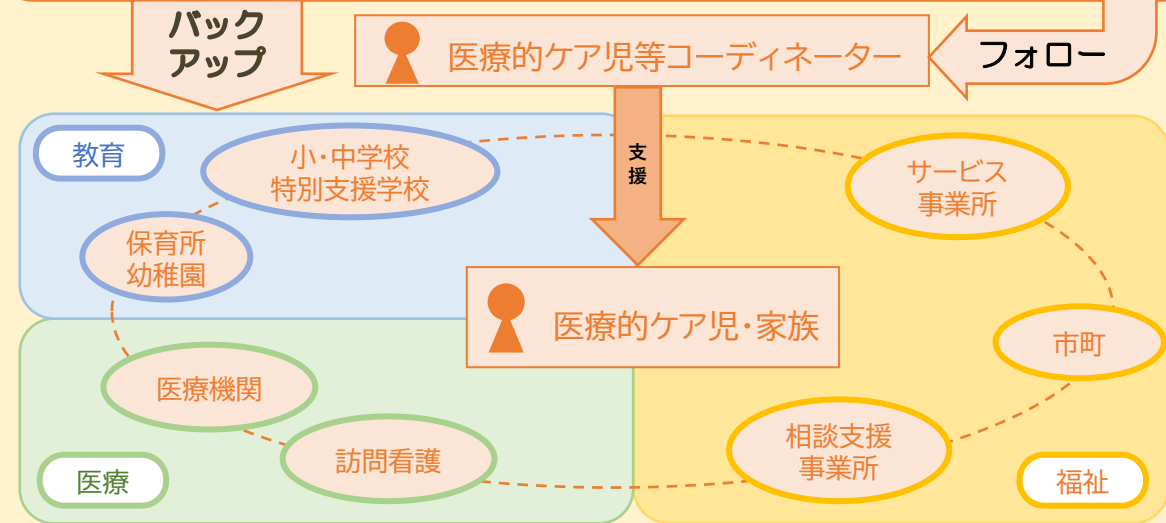
## 自治体の概況

総人口（令和3年4月1日時点）	約95万人
18歳未満人口	不明
医療的ケア児数（令和2年3月時点）	160人
医療的ケア児等コーディネーター配置人数	1人

## 体制

### 香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <b>【医療的ケア児・者、家族、支援者の相談対応】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療的ケア児・家族、支援者向けの相談対応</li> <li>・ 好事例や社会資源の情報収集・提供</li> <li>・ 必要な資源やサービス、適切な支援者の紹介</li> <li>・ 個別事例対応にあたっての助言、協働 等</li> </ul> | <b>【支援者の養成・人材育成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援者養成研修</li> <li>・ コーディネーター養成研修</li> <li>・ フォローアップ 等</li> </ul> | <b>【地域づくりや支援体制の構築】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報、啓発活動</li> <li>・ 関係機関との連携</li> <li>・ 市町の要望に応じた「協議の場」への出席 等</li> </ul> |
|---|---|---|



## 概要

### 医療的ケア児等支援センター「ソダテル」

活動開始年度	令和3年度
組織・機関の運営主体	一般社団法人 在宅療養ネットワーク
活動拠点	1か所
活動人数	センター長 1名 相談員 2名 相談支援専門員 1名 事務員 1名
支援件数	約71件 (令和3年4月から令和4年1月末までに新規で受け付けた相談件数)
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療的ケア児・者やその家族、支援者の相談対応</li> <li>・ 支援者の養成、人材育成</li> <li>・ 関係機関との連携促進、支援体制の構築 等</li> </ul>
組織・機関の特徴	現在は市町村と協働して事例対応。将来的には市町村の「バックアップ」への特化を目指す

# 香川県：医療的ケア児等支援センターを開設してワンストップ窓口を確保。「支援者」への支援も充実

## 主な活動

### ■医療的ケア児・者やその家族、支援者の相談対応

- ・ 県内の医療的ケア児・者やその家族、支援者からの相談に対応
  - 相談受付はホームページのメールフォームや電話による
  - 受け付け後は、相談者の希望に合わせて、メールや電話、センターへの来訪、家庭訪問、WEB会議等に対応
- ・ 個別事例への助言、ケース会への参加、個別事例に同行しての支援
- ・ 関係機関や連携先、支援者の紹介
- ・ 好事例や社会資源の情報収集・提供
  - 情報配信サービス「ソダテルねっと」にて登録者へ月1回程度情報配信

### ■支援者の養成、人材育成

- ・ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の実施
  - 令和3年度は1回開催(36名修了)
- ・ 医療的ケア児等支援者養成研修の実施
  - 令和3年度は1回開催(21名修了)
- ・ フォローアップ研修の実施
  - 令和3年度はオンデマンド配信を行い75名が視聴
  - 講師：医療型短期入所施設「かがやきキャンプ」施設長
  - テーマ：「療育者に知ってほしい発達の仕組みと日々のかかわり」

### ■関係機関との連携促進、支援体制の構築

- ・ 医療的ケア児等支援に関する講演会の開催(令和4年6月頃に開催予定)
- ・ 県や障害福祉圏域の自立支援協議会等「協議の場」への出席、助言指導

## 活動の成果

- 相談対応のワンストップ窓口を確保
- 支援者が自身も支援を受けながら医療的ケア児家族を支援する体制の確保
- 情報配信サービス「ソダテルねっと」の配信を開始した結果、医療的ケア児・者やその家族、支援者に向けて、随時の情報提供が可能となった

## 活動に係る課題

- 支援者の地域的な偏在の解消  
例)過疎地や島しょ部では医療的ケア児等コーディネーターが少ない 等
- 地域の特性に応じた支援体制づくり
- センターによる支援の質の維持・向上のための人材育成

## 自治体における今後の施策展開方針

- 医療機関等に対するセンターの認知度向上
- 多職種、他機関連携のさらなる推進
  - ・ コーディネーターのフォローアップ、バックアップ
- 県内のどの地域でも医療的ケア児・者が生活しやすい体制づくり
  - ・ 地域によって医療的ケア児や支援者、事業所の分布に違いが大きい。圏域や市町の「協議の場」にコーディネーター等が出席、助言して、支援の質の平準化を図る。
- 成人後の居場所の確保の必要性に向けた将来的な検討

安心して暮らすという  
当たり前の願いを叶えたい

医療を必要とする子どもたちが、香川県17市町どこの地域にもあたりまえに暮らしています。

地域という身近な単位で、連携を重視した総合的な支援の環境を早期に整え、専門的支援につなげることで、医療を必要として育つ子どもたちとその家族だけでなく、誰もが望む、「安心して暮らす」という願いに応えています。

子どもは地域で育つ

すべての子どもの成長待ったなし！  
どんな小さな声も置き去りにできません。  
すべての子どもを大切に育てることが、持続可能な地域への大きな財産です。  
地域力を最大限に発揮し、これから生まれてくる子どもたちへつなげていきます。

※医療的ケア児等総合支援事業として、香川県の委託を受けて活動しています。



ここには  
選択肢があります

医療的ケアを必要とする方、そのご家族や支援者のみなさんが、前が見えなくなったときのための窓口がここにあります。

まずはご相談ください。  
地域の手を借りることで霧が晴れていくように目の前が明るくなるかもしれません。

香川県医療的ケア児等支援センター

「ソダテル」



医療的ケア児等やその家族が  
地域に生まれ  
共に生きる社会づくりに  
貢献してまいります

ご相談窓口

香川県医療的ケア児等支援センター  
「ソダテル」

(一般社団法人 在宅療養ネットワーク内)

〒760-0068 高松市松島町2丁目12番8号

TEL 087-802-2237 (代表)

携帯 070-1566-6455 (直通)

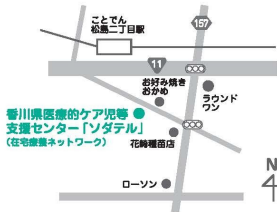
<https://raiseup.or.jp/>

メールでのお問い合わせは  
ご相談フォームからどうぞ



〈受付時間〉月～金 9:00～17:00

メールは24時間いつでもお送りください。  
こちらでの確認は受付時間内になりますが、  
翌日にはお返事いたします。



どんなことを  
おこなうの？



1. 医療的ケア児等がいつでもどこでも相談できるシステムをつくる
2. 医療的ケア児等を支える支援者を育てる
3. 医療的ケア児等とその家族が安心して暮らせる地域づくり

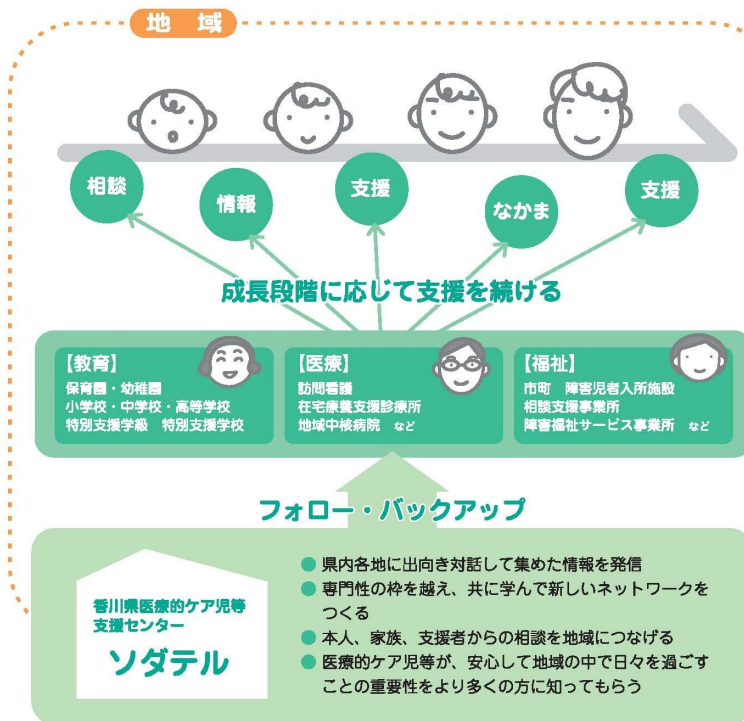
ソダテルのスタイル

県内各地に出向いて、医療・福祉・教育・保健センター等に協力を呼びかけながら、ネットワークを構築していきます。

- ① それぞれの地域の中で → 人間関係  
関係者が対話する機会 (尊重し合える関係)
- ② それぞれの地域にあった → 良いアイデアや  
解決策をみんなで考える 気付き
- ③ そこで生まれた → 助け合うことで  
解決策をみんなで実践する 新しい挑戦
- ④ 成果の実感 → 信頼関係が高まり  
関係性の質を高める

「ソダテル」には、話せる人がいます

医療的ケアを必要とする方とその家族や支援者の総合的な相談窓口となり、  
情報提供や助言など、成長のどのタイミングにおいてもきめこまかに対応します。





医療的ケア児者・ご家族・支援者のみなさま

### 「ソダテルねっと」って何？

「ソダテルねっと」では、「医療」「教育」「暮らし」などライフステージにあった各分野の情報をメールにてお届けいたします。

みなさまの健やかな成長、自分らしい暮らし方に向けて、全国各地域で実情に合わせた様々な取り組みが行われています。そういった情報を皆様にお届けしていきます。

また、ご登録いただいた皆様から、知りたい情報のリクエストを頂くこともできます。

※ 皆さまからのメールは、「ソダテルねっと」担当者だけに届きます。  
お返事は、担当者から個別に対応させていただきます。  
他の方との直接的な、やり取りはできません。

### どんな人が登録するの？

医療を必要とするお子様から成人の方、ご家族や支援者の方に、ご登録いただけます。

※いただいた情報は、香川県健康福祉部障害福祉課と共有させていただきます。

ご登録はこちらから



### ☆ソダテルねっと 受付フォーム☆

1. 受付フォーム URL から登録  
<https://forms.gle/evzUNy939mTAiaWRA>

2. QR コードから登録



3. ソダテルホームページのリンクから登録  
<https://raiseup.or.jp/>

※ご入力いただきました個人情報は、下記の目的で利用いたします。

- (1) 『ソダテルねっと』情報発信のため
  - ・ライフステージに応じた就園・就学・就労に関する情報
  - ・在宅サービスに関する情報等
- (2) ソダテルからお知らせ発信のため

メールアドレスの変更・退会をご希望の方は、下記までご連絡ください。

香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」

TEL:087-813-0782

Mail:info@raiseup.or.jp

# 長野県：コーディネーターを支援する「スーパーバイザー」を配置し重層的支援体制を構築

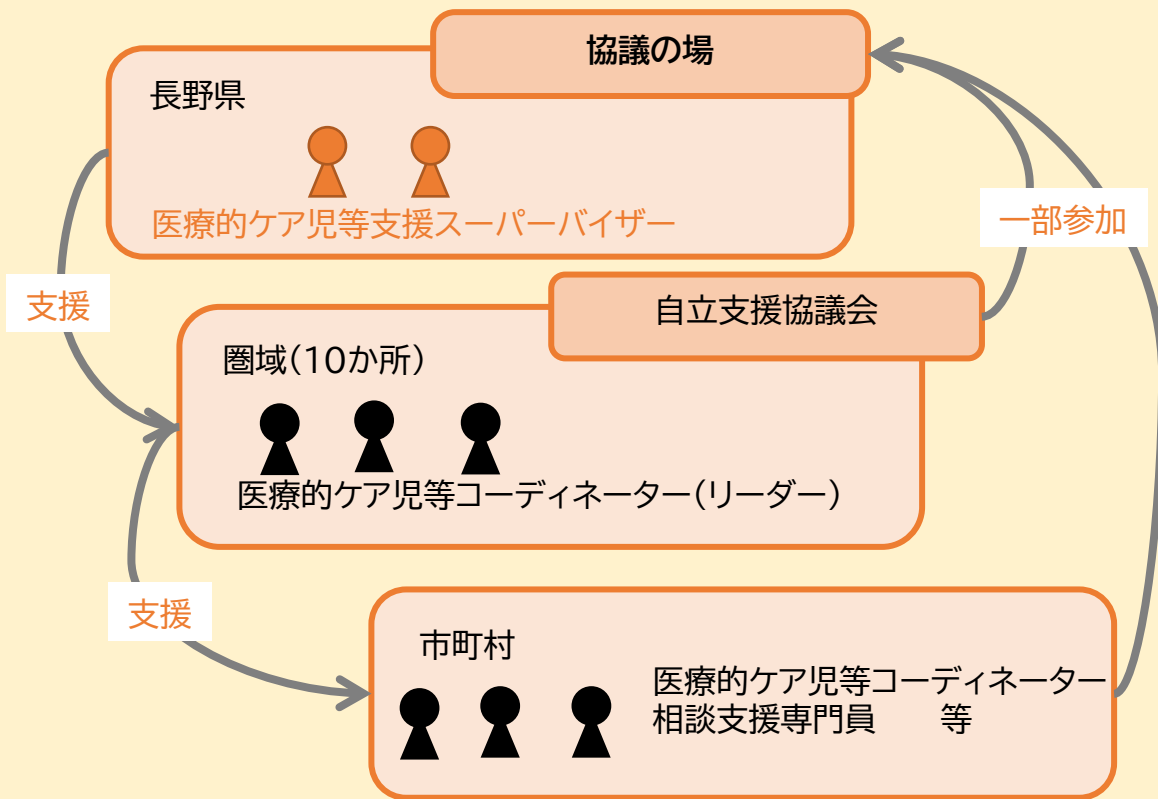
## 特徴

- 「医療的ケア児等支援スーパーバイザー」を配置
- スーパーバイザーが医療的ケア児等コーディネーター等支援者を支える**重層的な支援体制**
- スーパーバイザーを医師と患者家族が務めることで**多様な支援ニーズに対応**

## 自治体の概況

総人口（令和3年4月1日時点）	約202万人
18歳未満人口（令和3年4月1日時点）	約30万人
医療的ケア児数（令和元年4月時点）	508人
医療的ケア児等コーディネーター配置人数	2人

## 体制



## 概要

### 医療的ケア児等支援スーパーバイザー

活動開始年度	平成30年度
組織・機関の運営主体	長野県
活動拠点	県本庁
活動人数	2名（患者家族および小児科医師）
1年あたりの支援件数	約20件
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>各圏域のコーディネーターのバックアップ</li> <li>人材育成</li> <li>各圏域の関係者等のコーディネート</li> <li>圏域間の情報共有の促進</li> <li>協議の場への参加 等</li> </ul>
組織・機関の特徴	2名のスーパーバイザーは、医師と患者家族というそれぞれの経験や知識を活かして役割分担しながら活動している

# 長野県：コーディネーターを支援する「スーパーバイザー」を配置し重層的支援体制を構築

## 主な活動

### ■各圏域のコーディネーターのバックアップ

- 個別事例への対応に関して助言
- 国の動向や各種制度等について情報提供
  - 制度の変更点等をわかりやすく整理・共有(実際に共有された資料の一例として別紙1)

### ■人材育成

- 様々な対象者に向けて人材育成研修を実施(「参考③」を参照)
  - 医療的ケア児等支援者ブラッシュアップ研修  
(対象:医療的ケア児等の直接支援にあたる支援者(医療的ケア児等コーディネーターを含む))
  - 医療的ケア児等コーディネーター連絡会  
(対象:医療的ケア児等コーディネーター)
  - 救急シミュレーション研修会  
(対象:通所事業所、学校等で医療的ケア児支援にあたる支援者、教職員等)

### ■各圏域の関係者等のコーディネート

- 圏域内で支援者同士を紹介して連携を促進

### ■圏域間の情報共有の促進

- 県内の取組のうち好事例にあたるものを圏域を超えて紹介、共有

### ■協議の場への参加

- 県の「協議の場」に出席し、県内の医療的ケア児の状況やその支援の実態を情報共有
- 支援施策の立案に向けて日頃の支援活動を踏まえた意見を発信

### ■その他

- 災害対策の一環として市町村による個別避難計画策定の支援を実施  
例)計画策定に向けた作業ステップを解説する「フローチャート」の作成・配布

## 活動の成果

- 支援者を支える仕組みが整い、「支援者が孤立しない環境」を確保
- 関係機関の間における情報共有や連携の促進
- 職種を超えた協働の促進

## 活動に係る課題

- 現在活躍しているスーパーバイザーの「後進」にあたる人材の育成
- スーパーバイザーの属人的な知見や経験、人脈に依存した体制からの脱却
- 圏域間の格差を解消するための交流機会等の創出
- 事例対応について、地域のコーディネーターと「協働」する仕組みから「バックアップ」へ特化した仕組みへの移行

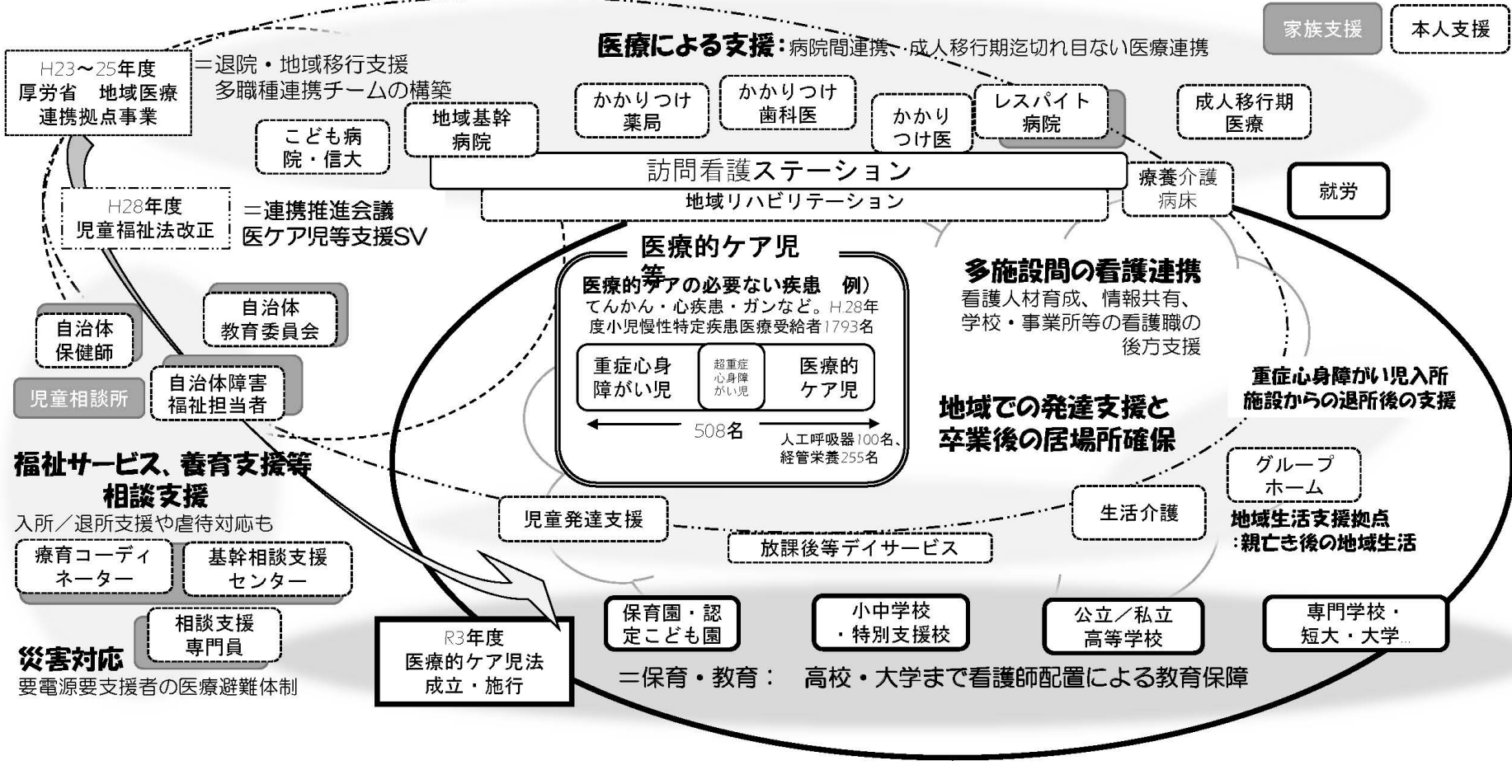
## 自治体における今後の施策展開方針

- 学校卒業後の「居場所」が慢性的に不足。実態の把握や就労支援分野への医療的ケアに係る啓発等を通じて解消を目指す
- 「医療的ケア児支援人材育成研修」や「看護研修」等を通じた人材育成
- 圏域や全県の連携推進会議、支援者相互交流研修等の開催による連携強化
- アウトリーチによる助言、指導をはじめとした支援者の後方支援充実 等

# (参考①) 長野県の医療的ケア児支援体制

(長野県医療的ケア児等支援連携推進会議資料より「支援体制の現状と人材育成・連携」)

## 医療的ケア児等の地域生活支援＝小児在宅医療



県立こども病院が中心になってNICU長期入院児の退院・地域移行支援と地域の多職種連携構築を目指したことから始まった。県立こども病院と地域の連携促進から、地域に求められる多様な職種の支援者を育てる活動が生まれ、相互の連携促進から圏域ごとのコーディネーターチームの構築へと進んだ。平成28年の児童福祉法改正を機に、信州大学小児科との連携が生まれ、平成30年度圏域のコーディネーターの後方支援を担うスーパーバイザーと全県の連携推進会議を設置。個々の児の支援＜圏域の課題解決＜全県での取り組みというタテ・ヨコに重層的な体制をつくっている。

(参考②) 医療的ケア児等支援スーパーバイザーと各圏域の医療的ケア児等  
コーディネーターの機能分化とそれぞれの協議の場について (県ご提供資料)

横の連携＝多職種連携や協議だけでは解決できないことは後方支援で

【多職種連携チームと重層的後方支援体制】

【協議・連携の場】

全県の連携支援体制のハブ・後方支援

スーパーバイザー  
＝今後は医ケア児等支援センター

マクロ(県):  
庁内連携会議  
県の連携推進会議

圏域の支援体制＝  
地域づくりの中心となる多職種チーム

圏域医療的ケア児等  
コーディネーター

圏域医療的ケア児等  
コーディネーター

メゾ(地域＝圏域):  
自立支援協議会や  
圏域連携推進会議

それぞれのケースの  
支援チーム

医療的ケア児等コーディネーター研修修了者を中心に  
支援チームをつくる



ミクロ(個別支援)  
:支援会議

# 医療的ケア児等支援スーパーバイザーによる人材育成、指導・助言

## ■人材育成：育てる（「今」「ここで」求められる知見と技術の提供）

- ・医療的ケア児等の直接支援にあたる支援者向けに研修を実施

### ➤ 令和3年度 医療的ケア児等支援者ブラッシュアップ研修 65名受講

胃瘻からの半固形食短時間摂取法	長野県立こども病院
気管切開・喉頭気管分離についての基本的な知識	小児外科 高見澤 滋 先生
医療的ケア児の口腔ケア	松本歯科大学 小笠原 正 先生
訪問歯科診療について	長野県歯科医師会
抗てんかん薬について	長野県薬剤師会 (信州大学病院、県立こども病院の 薬剤師も協力)
在宅TPN患者のサポートについて	
新しい神経系の薬について	
薬剤師の訪問支援について	

- 通所事業所、学校等で医療的ケア児支援にあたる支援者、教職員を対象に救急シミュレーション研修会を実施

講師：圏域の看護リーダー 6か所で実施 約75名参加